

開講学科	基礎教育センター	前橋工科大学 シラバス			
科目名	マスメディア論	標準対象年次	選択/必修	科目コード	
		2年次	選択	18000901	
担当教員	武藤洋一	単位数	学期	曜日	時限
		2単位	後期	火曜日	6時限
授業の教育目的・目標	幅広い教養と豊かな人間性を育むとともに、思考力、表現力を身に付ける。				
学科の学習・教育目標との関係	理科系の仕事に就いても、業務における交渉で大切なのは会話。相手の理解を得るための導入は世間話。その源泉はニュースである。社会人には、日々のニュースを理解し、さらにその背景を読み解く力が求められる。そのメディア・リテラシーが身に付くことを目指す。大学生として必要な教養と倫理観を身に付ける。				
キーワード	「ジャーナリズムが危ない」				
授業の概要	学術論より実例と体験を中心に展開する。「分かりやすく」説明し、「興味深く」聞いてもらうよう努める。				
授業の計画	第1回：	「ジャーナリズムとは」事実とは何か。権力機関の監視。報道責任。			
	第2回：	「メディア史」紙と印刷、電波の歴史と報道機関の成り立ちなど。			
	第3回：	「実名と匿名」実名報道の意味、匿名にする理由、匿名社会の怖さ。			
	第4回：	「表現の自由」国民の知る権利、名誉棄損とプライバシー、治安維持法。			
	第5回：	「圧力と権力」メディアへの圧力と放送法、メディアの持つ権力。			
	第6回：	「報道被害」報道されることによる直接被害、間接的な風評被害。			
	第7回：	「誤報と冤罪」あつてはならない誤報とその対応、冤罪はなぜ起きるか。			
	第8回：	「被害者支援」犯罪被害者の救済と支援団体の活動、メディアの対応。			
	第9回：	「少年保護」少年法の本質と意義、報道する際の報道機関の考え方。			
	第10回：	「司法改革」裁判員制度、可視化、司法取引、おとり捜査、死刑制度。			
	第11回：	「記者クラブ」存在理由と排他性による弊害、ニュースは誰のものか。			
	第12回：	「選挙報道」平等の原則と泡沫扱い、選挙妨害、世論調査と当確判定。			
	第13回：	「取材の原則」自主取材、記者会見、ぶら下がり、夜討ち朝駆け。			
	第14回：	「使命と役割」紙や電波など媒体の違いによる使命と役割の差異。			
	第15回：	「マスメディアの将来」IT社会での新聞、テレビ、ラジオの存在意義。			
受講条件・関連科目	なし。				
授業方法	講義、時事問題解説、質疑応答。				
テキスト・参考書	プリント教材。				
成績評価	・試験（ ） ・レポート（100%） ・その他 注意事項（ ）				
履修上の注意	可能な限り新聞を丹念に読むこと。テレビのニュース番組を見ること。				